

今年の新入社員のタイプは何タイプ?というものが、毎年話題になりますが、それは、旧世代が自分たちの常識の域外と感じる気持ちを、何か他の物に例えて批評することが多いように見受けられます。私にも「新入社員だった」ことがありましたが、私達世代は「新人類」と呼ばれておりました。

その頃、私は社会人2〜3年目で、当時在職していた会社では、職場内ではもちろんのこと、会社の取引先や、同業他社とのゴルフコンペが非常に盛んで、私も過去のゴルフクラブをもらって、立派に会社内外のゴルフメンバーが務まるように、会社の先輩からゴルフの「新人養成プログラム」を受けました。

当時はバブル真っ只中で、若い社員の給料には、ゴルフのプレイ費は高価なものでしたが、随分いろんなゴルフコースに引っぱり出されました。コースに出たての頃などは、下手な私の打ったOB球（コースを外れた球）を追って、自分の母親とさして変わらない年齢のキャディーさんが、コース脇の谷底へ駆け下

りて行き、ボールを探して来てくれた事もありました。打ったボールを年上の女性に走って拾いに行かせて平然としている、おおよそ紳士のスポーツと真逆の所業に対し、最初ひどく自責の念にかられたものです。結局、私のゴルフはモノにならず、今やクラブを握る機会もありませんが、思い出されるのは、こうしてコースを一緒に回ってくれたキャディーさんのことです。

ゴルフをされる方には説明を要しませんが、キャディーさんというのは、お客と一緒にゴルフコースを回り、このコースは、どっちに打たればいい、とか、どの辺から打たればいいと、控え目に、それでいいと、的確に教えてくれます。彼女たちは決して自分でプレイすることはありませんが、毎日の様にお客とコースを回り、コースをよく熟知しています。熟知していながら、ゴルフに自信のあるお客には、出しやばらず、下手なお客には、それなりのアドバイスをして、それでいて決して礼を失わず、そして、打った

打球が「大きく道に逸れた」時は、「フオアー」と警告の叫びとともに、ボールの行く末を追ってくれます。そう、「その時々相手の場合に合わせて仕事」を見事にやり遂げるのです・・・。

私共管理者は、常に現場の職員に対して、資質の向上を求めています。その一方で、ご利用者様や現場職員に対して、私共も役割をちゃんと果たしているだろうか、と常に自省します。平生は、ベテラン職員にはベテランらしい、新人職員には新人らしい仕事のやり方を出来るだけ尊重し、その職員一人ひとりにとって「気持ちのいい」仕事をしてもらいたいと考えています。それが、ご利用者様にとっても、過ごしやすい環境の提供に繋がるからです。そして職員から相談を受ければ、その職員一人ひとりのキャリアにあったアドバイスを必要です。そしていざと言う時、明らかに誤りが認められる時は、全力で警鐘を鳴らし、フオローに入る。つまり、そうした役割を担えているか、ということなんです。

私の言うキャディーさんのイメージは、もう30年以上も前のもので、現在のコー

スと様子が違うかもしれません。しかし、私のゴルフボールを拾って来てくれたキャディーさんの汗のしずくが、今も鮮やかに浮かびます。そして今、私はその時のキャディーさんのように、現場職員のフオローに、汗を流しているのでしょうか?

福祉現場における虐待等の報道が、新聞テレビで連日報じられる昨今ですが、仮にも私が現場に対して渾身の大声で「フオアー」と叫ぶような事態にならないよう、普段から現場職員の自己覚知力および他者覚知力を養う等、現場力の向上を目指すとともに、私自身も、このキャディーさんの視点・役割が「自家薬籠中の物」となるよう、努めたいと思います。

嘗ての新人類が自分では真つ当になつたつもりで、偉そうにこつた文を書く可笑しさ。「今の若い人は・・・」というのは、永遠に次世代に引き継がれて行くのでしょうか。

因みに今年の新入社員は、「A1スピーカー」タイプだそうです。意味については、紙面が尽きましたので、各自お調べ頂ければ幸いです。

共同生活援助事業管理者
 西尾 智樹

社会福祉法人こころの窓 事業概要

- 青い鳥 就労継続支援事業B型 定員20名
- ヴァイラージュあゆみ 生活介護事業 定員80名
- ヴァイラージュあまね グループホーム(共同生活援助事業) 10ヶ所 定員54名
- ショートステイあかね ショートステイ(短期入所事業) 定員12名
- 相談支援事業所青い鳥 相談支援事業
- 青い鳥初芝教室 児童発達支援事業・放課後等デイサービス 定員10名
- ショップ青い鳥

KoKoRo no MaDo

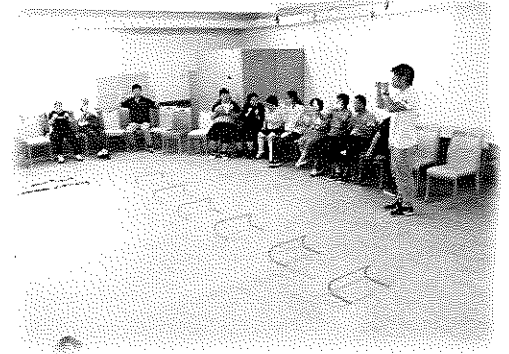
Social Welfare Organization

理念

- 愛と英智で 人に添い
- 愛と英智で 事に当たり
- 愛と英智で ともに生きる

「MYフィットネス道」のインストラクターにお越しいただきました。

2019年7月4日(木曜日)・8月29日(木曜日)の「レクリエーション活動」において、『MYフィットネス道』のインストラクター1名に青い鳥へお越しいただき、ご利用者様が楽しく取り組める簡単なリズム体操・チェア体操などを行いました。あつという間でしたが、インストラクターの方と楽しく運動をする事ができ、ご利用者様に大変喜んでいただく事ができました。



10月より、定期的な「レクリエーション活動」のプログラムとして展開しております。今後の活動もお楽しみに。

あおいとりのおかし

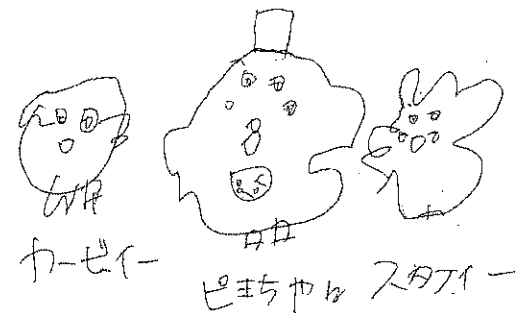
2019年10月より「あおいとりおかし」の価格が変わり、パッケージも新しくなりました。パウンドケーキの新しいパッケージは「ほのぼの」としたデザイン、クッキーは赤や白のラインの「シャープ」なデザインとなっていますので是非ご覧ください。

その他にも、季節のイベントごとにラッピングを変更しているため、プレゼントにもおすすめです。この機会に「あおいとりのおかし」お召し上がり下さい!!



インスタグラムをはじめたので、「いいね・フォロー」よろしくお願いします!!

アーティスト・ノマド



西端 正太さん
 (青い鳥 生活介護事業)



北野 智子さん
 (青い鳥 就労継続支援事業B型)

今日も健康

結膜炎は、身近な目の病気ですが、
 ○感染性の結膜炎（ウイルス性・細菌性）
 ○非感染性のアレルギー性結膜炎
 があります。

あれ!?
 目が赤い…涙や目やにが出る…
 結膜炎かなあ？ 眼科へ行こう！



その中でも特に、感染性結膜炎である
 アデノウイルスによる結膜炎「流行性角結膜炎（はやり目）」は
 感染力が強く、手指やタオルなどを介し人へ感染しますので注意が必要です。

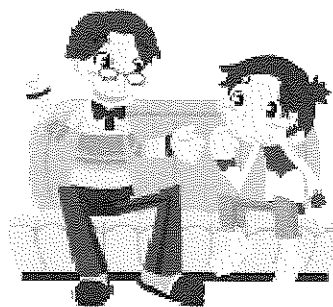
予防するための対策…「手洗い」や「目を触らない」ように意識しましょう。

- 広げないための対策…①手洗いを行う。
 ②タオルを共用しない。
 ③お風呂は最後に入る。
 ④外出は控え、学校に行かない 職場にもできるだけ行かない。

*流行性角結膜炎は感染力が強いため学校感染症に指定されており、感染のおそれがないと認められるまで出席停止になります。

正しい点眼をしましょう！

- ① 手をきれいに洗います。
- ② 頭を後ろに傾け、下まぶたを軽く引き、まつげにふれないように目薬を1滴さします。
- ③ 点眼後、軽く目を閉じます。
- ④ あふれたお薬は軽くティッシュで拭き取ります。
- ⑤ 薬が、鼻やのどに流れないように、1~2分間、目頭を軽く押さえます。
- ⑥ 2種類以上の目薬をさす場合には、5分以上間隔をあけます。

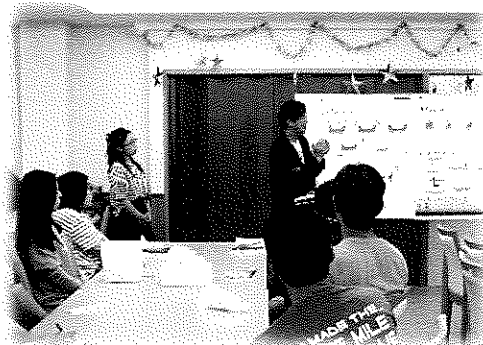


(看護師 谷口 裕子)

職員研修(歯科研修)を開催しました！

2019年9月26日(木曜日)に、青い鳥に丹田歯科医院より医師・歯科衛生士の方をお招きし、法人主催の『歯科研修』を行いました。
 研修内容は、講義にてご利用者のブラッシングのポイントや、歯周病についての最新情報をイラストなどを交えて教えていただきました。演習では、医師・歯科衛生士より職員1人1人に歯磨きについてアドバイスをいただきました。今後のご利用者様のブラッシング介助などに活かしていきたいと思っております。

写真は「職員研修(歯科研修)」(9月26日 青い鳥食堂にて)



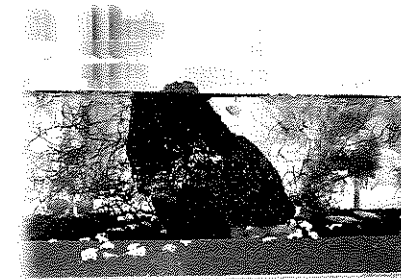
イベント紹介

前号でもご紹介いたしましたが、「青い鳥まつり」に代わるイベント「にじいろくれよん」の第2回目・第3回目を、2019年9月7日(土曜日)と11月2日(土曜日)に開催しました。青い鳥に所属するご利用者が主体となり地域の住民の皆様への貢献と交流を深めるイベントとして進めております。

第2回目は、「メダカすくい」と「スタッフ厳選メダカの販売」を行い、週中日からの悪天候で当日の天気も危ぶまれましたが18組の方にご来場いただきました。

第3回目は晴天に恵まれ「青い鳥のおかし販売」と「おかしすくい」、「スタッフ厳選メダカの販売」、「メダかつり」を行いました。今回は試験的にメダカのブリーダーの方に販売にお越しいただきました。朱色や黒色、3色、ダルマなどの珍しいメダカの数々にお客様も驚かれていました。また、青い鳥まつりで好評を博した「おかしすくい」は今回も大盛況で、約40組の方にご来場いただきました。

今回より正式にご利用者が店番などのお客様対応に参加されており、以前から要望がありました「イベントを自分たちでやってみたい」が叶いました。参加したご利用者の皆さんは生き生きとした笑顔でお客様をもてなす事ができました。



次回は、2020年1月18日(土曜日)に開催予定です。(変更・中止になることがあります)
 なお、イベントの様子につきましては、ホームページでもご紹介しております。
 青い鳥のホームページより、「にじくれ」のパナーをクリックしてみてください！！



インフルエンザワクチン接種の季節です！

冬季は、毎年インフルエンザが大流行します。
 インフルエンザの予防策として、ワクチン接種(インフルエンザ発症の可能性を50~60%に減少させ重症化を防ぐ)をお考えになれる方は、より効率的に有効性を高めるために、インフルエンザの流行(一般的に毎年1月~2月がピーク)に合わせ、11月中旬、遅くとも12月中旬までにワクチン接種をされますようお願い致します。